

2月行事予定

月	日	曜	学校行事	朝の時間	学年授業時数						ことば・PTA
					1年	2年	3年	4年	5年	6年	
	1	木	SC 朝の見守り	読書	5	6	6	6	6	6	
	2	金	たてわり班活動 ICT	算数	5	5	5	6	6	6	
	3	土									
	4	日									
	5	月	クラブ見学 ICT	全校朝会	5	5	6	6	6	6	
	6	火	避難訓練	国語	5	5	5	6	6	6	
	7	水	午前授業 郷土資料館出張授業(3)	烏骨鶏集会	4	4	4	4	4	4	
	8	木	長縄オリンピック バイクン給食(5) SC	読書	5	6	6	6	6	6	
	9	金	新一年生保護者会(1, 2年生4時間授業)	算数	4	4	5	6	6	6	
	10	土									
	11	日	建国記念の日								
	12	月	振替休業日								
	13	火	クラブ見学 ICT	国語	5	5	6	6	6	6	
	14	水		集会	5	5	5	5	5	5	
2	15	木	お話パラシュート&ロケット 色覚検査(2希望) 理科出前授業(4) バイクン給食(6) SC	お話パラシュート	5	6	6	6	6	6	
	16	金	かがやき	算数	5	5	5	6	6	6	
	17	土	土曜授業 漢検(CS)10歳のお祝いの会(4)	国語	3	3	3	3	3	3	
	18	日									
	19	月	6年生を送る会リハーサル 委員会	全校朝会	5	5	5	5	6	6	
	20	火	認知症サポーター養成講座(4)	国語	5	5	6	6	6	6	
	21	水	6年生を送る会 ICT	集会	5	5	5	5	5	5	
	22	木	5時間授業 卒業を祝う会 SC ICT	算数	5	5	5	5	5	6	
	23	金	天皇誕生日								
	24	土									
	25	日									
	26	月	クラブ イングリッシュウィーク始	全校朝会	5	5	5	6	6	6	
	27	火	保護者会(2, 4, 6) 社会科見学(5) ICT	国語	5	4	6	5	6	5	
	28	水	ICT	清掃活動(2, 5)	5	5	5	5	5	5	
	29	木	SC	読書	5	6	6	6	6	6	

SC…スクールカウンセラー SST…ソーシャルスキルトレーニング ICT…ICT支援員

※予告なしの避難訓練があります。

2月の生活目標

月目標 **寒さに負けずにがんばろう**

現在、本校でもインフルエンザに罹っている児童がいます。手洗い・うがいをしっかりとすること、外遊びで身体を鍛えること、バランスよく栄養をとること、早く寝ることを継続していきましょう。学校でも指導しますが、ご家庭でも折りに触れてお話していただくと効果が上がりますので、よろしくお願いいたします。





杉十

2月号

令和6年1月31日

杉並区立杉並第十小学校

<http://www.suginami-school.ed.jp/sugi10shou/>

子供たち一人一人の良さを大切に

副校長 四海 満

能登半島地震の被害のニュースを観るたびに心が痛みます。一日も早い復興をお祈りいたします。

日本一早い梅の開花で知られる静岡の熱海梅園や東京の湯島天神では早くも1月9日に梅が咲き始めました。高知県の高知城の梅は14日に開花しましたが、これは昨年よりも19日、平年と比べると13日早く咲いたそうです。過去20年間で最も早い開花となりました。春が待ち遠しいですね。

梅に因んだ言葉に、桜梅桃李(おうばいとうり)という言葉があります。これは、桜には桜、梅には梅、桃には桃のそれぞれのいいところがあり、梅が桜になる必要はないという意味です。それぞれの良さを発揮すればいいのだということなのですが、金子みすゞの詩にもこんな詩があります。

私と小鳥と鈴と

私が両手をひろげても、
お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面を速くは走れない。



私がからだをゆすっても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように、
たくさん唄は知らないよ。



鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい。



人はこの世に生を受けた時は、何もできず、何も知らなかったはずですが。しかし、少し成長してくると、個人差が現れ、人が自分とは違うことに対して、それが間違っているかのように考えてしまうことがあります。

このことは私たち親にしても同じようなことがあります。赤ちゃんが生まれた時は、健やかに育つことを只ひたすらに願いました。初めて這い這いしたり、立ち上がった時には歓喜の声を

上げました。「あ〜」と言っただけでも「今しゃべった〜！」と目を丸くしたものです。

しかし、少し成長してくると、「どうしてこれができないの、あの子はできるのに何故この子はできないの。」と考えてしまいます。そうするとできないことや人と違うことをその子のせいにしてしまいがちです。そうになると、子供は追い詰められ、“なかなか言うことを聞かない”ようになっていきます。

それでは私たち大人の役割は何でしょうか。ホンダの創始者である本田宗一郎は、「世間では、大人の言いなりになる子や大人の考えの枠から飛躍しようとしらない子が『いい子』であり、自分の意思を堂々と主張したり、個性的な考え方や行動をしたりする子を「悪い子」というレッテルを貼りがちである」と言っています。またパナソニックホールディングスを一代で築いた松下幸之助は、「自分の長所にうぬぼれてはならない。自分の短所に劣等感をもつ必要もない。長所も短所も天与の個性、持ち味の一面である。おおらかにそれを活かす道を考えよう」と言っています。

昔の日本の言葉で、「人にものを教えたり、育てたりするというのは、車の車輪が重くても油をさして回りやすくしたり、船を水に浮かべて進みやすくしたりするようなものだ」というものを読んだことがあります。無理矢理動かすのではなく、動きやすく、また進みやすくしてあげる。これは、子供たちのそれぞれの良さを認めてあげて、褒めてあげて、子供たちが自分に自信をもってそれぞれの良さを発揮して生きていけるようにすることに通じると思います。これこそが大人の役目ではないでしょうか。

杉並区教育ビジョン2022には、『みんなのしあわせを創る杉並の教育』として、『人生100年時代を自分らしくいきいきと生きるための学び』《学びを通して、誰一人取り残されない社会を実現する》といったところをその根幹に置いています。

杉並第十小学校も教職員・保護者・地域が力を合わせ、子供たちの幸せを創っていく教育を進めてまいります。

委員会活動の紹介

杉十小の5・6年生の児童は、委員会に所属し、学校生活の充実と向上を目指し、積極的に活動しています。烏骨鶏委員会には、4年生が所属して活動しています。

委員会活動を通じて、みんなでよりよい学校生活にしようと頑張っています。

集会委員会

水曜日にある全校集会の司会や終わりの言葉、お楽しみ集会の企画などは、私たちが行って、休み時間などを利用して企画をすることもあります。これからも杉十小を盛り上げるために頑張っていきたいと思います。

代表委員会

毎日旗の上げ下げをしています。そして、赤十字募金、あいさつ運動、運動会のスローガン決めをしています。学校の代表としてみんなの学校生活を豊かにしていこうと考えています。ぜひ、あいさつ運動などの活動にご協力ください。

飼育・栽培委員会

飼育・栽培委員会では、1階廊下で飼育している生き物にエサをあげたり、水そうの掃除をしたりしています。学校のみんが元気な生き物の様子を見られるように心をこめてお世話をしています。

放送委員会

毎朝8時20分から、みんなが楽しく朝を迎えられるように、なぞなぞなどを放送しています。みなさんも注目していただけると嬉しいです。昼の放送は、楽しい音楽を流しています。静かに楽しんで聞いてください。

図書委員会

図書委員会では、毎週、自分の担当の日に、本の整理や、本の貸し出し・返却などを行います。読書月間では、本のポスター作りや企画などを行います。とても楽しいです。ぜひ、図書室に本を読みに来てください。

健康委員会

毎日の水質検査や、栄養黒板の張替えなどを行っています。また、校内には健康委員会が制作したポスターが掲示されています。児童・先生方の健康を守る内容になっているので、ぜひ見つけてみてください。

校内美化委員会

毎月一回各クラスのリサイクルボックスを回収して、紙の分別をしています。また、皆さんが履いていた上履きのゴム底も回収しています。中央階段下の回収箱に入れください。ぜひ、ご協力お願いします。

運動委員会

運動委員会の主な仕事は、校庭の体育倉庫の清掃・整頓、石灰の補充や、光庭の清掃・整頓などです。みなさん、校庭の体育倉庫をきれいに保つために、道具を使ったらもとの場所にもどしてください。

烏骨鶏委員会

烏骨鶏の世話はとても大変で、毎日エサと水をかえ、フンを掃除します。卵を産まないのは残念ですが、かわいいです。他の学年のみなさんにも烏骨鶏のことを知ってほしいです。2月の集会を楽しみにしてください。

学校安全隊

学校安全隊の活動内容は、いじめ防止月間の呼びかけや、月の終わりにろうか歩行の確認、子ども目線の学校の安全点検などです。皆さんも学校生活を楽しく安全に過ごすために、一人一人が意識して生活してください。

4年生から3年生への引継ぎ

烏骨鶏委員会担当 掛本 芽吹

4年生は烏骨鶏委員会6人を中心に、暑い日も寒い日も、1年間烏骨鶏の世話を続けました。烏骨鶏小屋の掃除の仕方やえさや水の量などについて、3年生に引き継ぎたいことを考えて、準備をしています。



赤十字募金

代表委員会担当 川村 綾美

1月18日(木)から20日(土)までの三日間、赤十字募金を行いました。朝の登校時間から、代表委員会の子供たちによる「おはようございます。募金、お願いします。」という元気な声が響き、たくさんのご家庭にご協力いただきました。本当にありがとうございました。

今回の募金で集まったお金は、義援金として外国や被災地に向けて、生活の援助を目的に寄付させていただきます。

こうした活動を通して、困っている時にはどうしたらよいのか、また助け合う心をもつことの大切さ等について、改めて考えていけたらと思います。



校内書初め展

書初め担当 藤原 久代

1月15日(月)から22日(月)まで、コモンスペースに展示した。書初め本番では、集中して書く姿が見られ、2学期や冬休みで練習した成果を発揮することができました。また、他学年の作品を楽しむ児童も多くいました。



一人一人の特性に応じるために

特別支援教育コーディネーター 安田 富士成

学校では、いろいろな子どもたちが一つの教室で学んでいます。理解がはやく次から次へと課題をこなしたい子、ゆっくり丁寧に組みたい子、新しいことが苦手な子、一つのことをとても詳しく知っている子など、学習面だけでも様々な違いが見られます。私たち杉十小の教員は、児童が安心して学校生活を送れるよう一人一人の特性に対応するために、特別支援教室の教員とも連携を図り、日々児童理解に努め、指導・支援を行っています。その中で、学校生活で必要と思われる個別の支援について、ご家庭と共通理解を図り、一貫性のある支援を行えるように「学校生活支援シート」を作成しています。「学校生活支援シート」は、保護者の方と担任とで、お子さまに必要な支援について話し合って作成します。「学校生活支援シート」は次年度の引き継ぎ資料として、進級した次の担任がどのような支援をしていくか考えるための重要な役割を担っています。お子さんのことで気になることやご心配等ありましたら、いつでも担任、特別支援教育コーディネーターや専門員、スクールカウンセラーにご相談ください。保護者の方と面談等をしながら共に学校生活支援シートの作成を行い、適切な支援に役立てていきたいと思っています。